

令和 7 年度
市民協働・共創促進事業の選定結果について
(答申)

令和 7 年 1 2 月
府中市市民協働推進会議

令和7年5月15日付けで、高野市長より諮問を受けた事項のうち、市民協働・共創促進事業の選定結果について、ここに、答申として提出いたします。

府中市市民協働推進会議	
会長	青山 亨
副会長	関根 正敏
委員	五十嵐 耕大
同	芝 喜久子
同	柴原 健次
同	高橋 史子
同	田中 誠
同	丹野 加奈子
同	野原 健史
同	花岡 麻穂子
同	和 田 奈美

目 次

1	市民協働・共創促進事業について	1
2	交付予定事業候補選定のながれ	1
3	選定結果	2

参考資料

- 1 市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 市民協働・共創促進事業採択者審査基準

1 市民協働・共創促進事業について

市民協働・共創促進事業は、行政課題の解決や社会的目的を実現する市民提案を募集し、市民と市が協働・共創し事業を実施する制度です。

この市民協働・共創促進事業は、フリー型市民協働・共創促進事業と、テーマ型市民協働・共創促進事業があり、フリー型市民協働・共創促進事業は、市民の自由な発想に基づき提案できるもので、テーマ型市民協働・共創促進事業は、市が掲げたテーマに基づき事業を提案できるものです。

2 交付予定事業候補選定のながれ

令和7年3月8日（土）から10月31日（金）までに提案のあった3事業について、12月22日（月）に、審査会を実施しました。

審査会では、提案団体による公開プレゼンテーションと質疑応答を行った後、府中市市民協働推進会議の委員で構成する「市民協働推進会議協働事業選定・評価部会（以下「部会」といいます。）」と、オブザーバーとなる協働・共創アドバイザー、市民協働推進部長、協働共創推進課長との意見交換を経て、部会による審査を行い、令和7年度市民協働・共創促進事業の候補事業として選定しました。

【市民協働推進会議協働事業選定・評価部会員】

役 職	氏 名
部 会 長(代 理)	五 十 嵐 耕 大
委 員	芝 喜 久 子
委 員 (代 理)	田 中 誠

【オブザーバー】

所 属	氏 名
協 働・共 創 ア ド バ イ ザ ー	中 村 亮 一
府 中 市 市 民 協 働 推 進 部 長	大 井 孝 夫
府中市市民協働推進部協働共創推進課長	福 嶋 史 江

3 選定結果

当会議が行った、令和7年度市民協働・共創促進事業選定結果については、次のとおりです。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定 結果	採択に当たっての意見・要望等
1	府中ソーシャル キッズラボ (子ども主体・社 会貢献体験プロ グラム)	CHEERS 株式会社	市民協働推進部 協働共創推進課	将来的な社会貢献活動の担い手 の裾野を広げることを目的とし て、子どもの頃から社会貢献活 動の体験に触れ、社会課題を自 分ごととして捉えられるような 実践機会やワークショップを開 催する。 社会課題について、子どもが自 ら考え、自分なりの課題解決 を发表し、実践する体験型ワー クショップを実施するもの。	テーマ型	999,358 円 (999,358 円)	採択	<ul style="list-style-type: none">・プログラム実施者（大学生等）及び参加者（子ども）は、府中市民（在住・在学のほか、在勤や市内で活動する者の子どもなど）を優先するように配慮すること。・アンケートの実施方法や効果測定に課題があるため、今後の事業の展望を見据えた検証データ等を取得し、事業終了後の報告会において報告すること。
2	平和都市宣言 40 周年に向けた周 知啓発の企画・提 案	NPO 法人アー ティスト・コ レクティブ・ フチュウ	市民協働推進部 協働共創推進課	令和8年度の平和都市宣言40周 年に向けて、「平和のロゴ、広 報物」を制作。市民が自分なり の身近な「平和」を感じ、考え るヒアリングを行い、平和を見 つめ直す場を提供する。 ロゴマークは市民自身が「平 和」について考え、手を加える ことで完成するという従来にな い柔軟な発想で平和を紡いでい く企画を展開する。	テーマ型	1,999,800 円 (1,999,800 円)	採択	<ul style="list-style-type: none">・本事業は、成果を定量的に測定することが困難な事業であるため、作成した成果物（チラシ等の広報物ほか）を、どこに、どの程度配布したか（するか）などを成果として計測するとともに、事業終了後の報告会において報告すること。・若年層を中心に多世代に対して平和への関心を高められるよう、市が本事業について世代に応じた周知など、効果的な広報を検討し、対応すること。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定 結果	採択に当たっての意見・要望等
3	府中市 特殊詐欺体験会	株式会社 NTT DX パートナ－	生活環境部 地域安全対策課	特許技術（シン・オートコール）を用いて、特殊詐欺体験会を3回実施する。 参加した市民は自身の携帯電話やスマートフォンに詐欺の電話やメッセージが届くことで、特殊詐欺の疑似体験ができると共に、体験会から得た警戒心は、友人、知人への情報共有を通じて波及効果が期待できる。	テーマ型	1,992,650 円 (1,992,650 円)	採択	・無関心層を含む多様な主体が参加しやすい環境にするため、休日や夜間の開催等、体験会参加者の増加に向けた方策を講じること。 ・事業実施後、事業報告会において、本事業の成果を踏まえた今後の府中市のビジョン（課題・対策・継続性）を明確に示すこと。

令和7年度市民協働・共創促進事業採点結果

評価項目			地域課題の 明確性	共創の必要性	公益性・ 社会的インパクト	独自性	実現可能性	妥当性	合計点	割合	可否審査	
No	事業名	団体名	点数	点数	点数	点数	点数	点数			可/否	割合
1	府中ソーシャルキッズラボ （子ども主体・社会貢献体験プログラム）	CHEERS 株式会社	2 7	2 7	2 7	2 6	2 5	2 5	1 5 7	8 7%	可	100%
2	平和都市宣言40周年に向けた 周知啓発の企画・提案	NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ	2 6	2 6	2 5	2 5	2 5	2 4	1 5 1	8 4%	可	100%
3	府中市 特殊詐欺体験会	株式会社 NTT DX パートナ－	2 3	2 4	2 3	2 4	2 2	2 2	1 3 8	7 7%	可	66%

参考資料

市民協働推進会議協働事業選定・評価部会
市民協働・共創促進事業（官民連携）採択者審査基準

審査項目	審査の視点	満点
の 地 明 域 確 課 性 題	地域課題をデータ等により具体的に認識・分析し、市民や地域のニーズを的確に捉えているか。	10
	市単独では解決できない課題が明確に存在するか。	
共 創 の 必 要 性	市にとって協働・共創する意義があり、課題解決のために市が関わることがふさわしい事業か。	10
	団体と市との役割分担が明確かつ妥当なものであるか。	
	市では従来にはない解決策であると認められるか。	
公 益 性	特定の人の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与するか。	10
	事業を共創することにより、具体的な成果を期待できるか。	
	ロジックモデルの内容が妥当（実現可能性、ロジックに矛盾がないか）であるか。	
独 自 性	新しい視点と創意により組み立てられた事業か。	10
	事業の発展性や将来性が期待できるか。	
	市にとっても新たな取組であり、何らかのイノベーション創出につながるか。	
実 現 可 能 性	目標が明確で、達成が見込める（無理のない）計画となっているか。	10
	計画を実現できる体制（人材面・資金面）を有しているか。	
	提案書や提案説明で、事業のポイントや団体の熱意を的確に伝えられているか。	
妥 当 性	費用対効果の視点で、市の委託事業として妥当であるか。	10
	令和7年度中に緊急で実施すべき事由があると認められるか。	
合計		60

2 採点基準

満点	特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る	評価対象外
10 点	10・9 点	8・7 点	6・5 点	4・3 点	2・1 点	0 点

※各審査員が「可」または「不可」を判定します。

一つの審査項目につき、10点満点の計60点とし、各審査員がそれぞれ採点を行います。全審査員の合計点を審査の点数とし、審査の点数が6割を超え、かつ「可」が過半数を超えることを審査通過にあたっての最低基準とします。